

令和3年度

丹沢大山ボランティアネットワーク
活 動 報 告 書

目 次

I 丹沢大山ボランティアネットワーク事業報告

1 瓦版の発行

II 会員団体活動掲示板

NPO 法人 丹沢自然保護協会

横浜わらび山の会

NPO 法人 みろく山の会

NPO 法人 野生動物救護獣医師協会神奈川支部

町田グlaus山の会

NPO 法人 丹沢自然学校

NPO 法人 野生動物救護の会

丹沢環境推進会議

III 世話人会の活動報告

I 事業報告

1 瓦版の発行

※ 新型コロナウイルス感染症拡大を巡る社会情勢等を踏まえ、令和3年度は、「丹沢大山水質調査」「講演会」「池の外来種調査と生き物の観察」は実施しませんでした。

丹沢ボラネット瓦版

2021年7月号 No.110



↑写真 春に秦野市南ヶ丘より表丹沢と市街地を望む



↑写真 三ノ塔北斜面の新緑 植樹等により植生回復中

令和3年度丹沢大山ボランティアネットワーク総会

令和3年度総会は新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため、令和2年度に引き続き書面とメールでの開催となりました。今回瓦版は、この総会を記録に残すため重要資料等を載せます。

この新コロナ感染症危機禍における令和3年度のボラネット活動の様子が、県民にも次世代にも伝われば幸いです。

1 日時・場所

新型コロナウイルス感染症をめぐる社会情勢を踏まえ、書面にて開催

- ・令和3年4月9日 各団体に資料送付
- ・令和3年4月18日各議案への賛否回答締め切り
- ・令和3年4月22日各団体に結果報告

2 議題

- (1) 令和2年度事業報告・決算報告（資料1.2）
- (2) 令和3年度事業計画・予算(案)（資料3.4）
- (3) 世話人会の改選（資料5）
- (4) その他



↑写真 新型コロナウイルス感染症禍の三ノ塔山頂の様子

令和3年5月4日(火)

新型コロナ感染症禍前よりは人は少なかったが人出は多かった

令和2年度事業報告

1 総会

実施日 令和2年4月26日（日）

※新型コロナウイルス感染症をめぐり社会情勢を踏まえ書面開催。

出席者 18団体

内 容 通常総会

2 世話人会

※ 新型コロナウイルス感染症を巡る社会情勢を踏まえ書面開催

(1) 第1回

実施日 令和2年6月3日（水）

出席者 7名

内 容 ① 年間世話人会日程
② 丹沢ボラネット瓦版
③ 丹沢大山登山環境意識調査のまとめについて
④ その他

(2) 第2回

実施日 令和2年9月2日（水）

出席者 7名

内 容 ① 外来種調査・生き物の観察会について
② 丹沢ボラネット瓦版について
③ 丹沢大山登山環境意識調査のまとめについて
④ その他

(3) 第3回

実施日 令和2年12月2日（水）

出席者 7名

内 容 ① 令和3年度事業計画
② 世話人会の改選について
③ その他

(4) 第4回

実施日 令和3年3月3日（水）

出席者 7名

内 容 ① 令和3年度事業（水質調査）について
② 丹沢大山登山環境意識調査冊子の配布について
③ 令和3年度総会について
④ その他

3 広報

(1) 瓦版の発行

108号（2020年7月号） 109号（2021年2月号）

(2) 活動報告書の作成

令和2年3月作成、3月発行

(3) ホームページの更新

4 活動報告

(1) 水質調査

新型コロナウイルス感染症を巡る社会情勢を踏まえ中止

(参考) 実施計画

実施日 令和2年5月

場 所 丹沢大山地域 水場 21箇所

内 容 大腸菌等 10項目の水質検査

(2) 講演会

新型コロナウイルス感染症を巡る社会情勢を踏まえ中止

(参考) 実施計画

実施日 令和2年6月20日(土)

場 所 自然環境保全センターレクチャールーム

内 容 「丹沢大山の動物について」

講 師 日本哺乳類学会員 青木 雄司 氏

(3) 外来種調査・交流会

新型コロナウイルス感染症を巡る社会情勢を踏まえ中止

(参考) 実施計画

実施日 令和2年10月24日(日)

場 所 神奈川県自然環境保全センター自然観察園

内 容 池の外来種調査

(4) 丹沢大山登山環境意識調査結果報告書

内 容 令和元年度に実施した調査結果を製本・発行(2月)

(5) その他

夏休み親子自然探検隊(8月頃)の後援

5 関係会議等への出席

(1) 緑を育む集い実行委員会総会

日 時 令和2年5月

※ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により書面開催

内 容

① 令和元年度事業報告・決算報告について

② 令和2年度事業計画・予算について

(2) 丹沢大山自然再生委員会関係

ア 第64回秦野丹沢まつり 出展

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止

イ 丹沢大山自然再生委員会 幹事会

日 時 令和2年5月

※ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により書面開催

【資料2】

丹沢大山ボランティアネットワーク
令和2年度(2020年度)決算報告

令和3年4月1日
ボラネット会計・黒坂博

1.収入の部

項目	予算	決算	予実差	備考
会費	64,000	52,000	-12,000	28団体 2団体現金¥4,000 未納2団体
助成金	870,000	148,500	-721,500	登山者意識調査
参加費	60,000	0	-60,000	行事中止のため
繰越金	11,802	9,432	-2,370	
合計	1,005,802	209,932	-795,870	

2.支出の部

項目	予算	決算	予実差	備考
水質調査	260,000	0	-260,000	行事中止
登山者意識調査	120,000	148,500	28,500	神奈川印刷に
夏休み親子自然探検隊	360,000	0	-360,000	行事中止
外来種駆除活動	70,000	0	-70,000	行事中止
講演会	50,000	0	-50,000	行事中止
世話人会	53,000	0	-53,000	書面にて
丹沢大山自然再生委員会会費	10,220	10,440	220	
予備費	82,582	770	-81812	神奈川印刷に 手数料770円
合計	1,005,802	159,710	-846,092	

3.収支

収入総額	支出総額	残高
209,932	159,710	50,222

令和2年度丹沢大山ボランティアネットワークの会計を監査しました。適正に執行されているものと認めます。

会計監査 安井啓子

会計監査 森島真知子

写真 秦野市の施設 ヤビツ峠レストハウス

令和3年3月23日(火)ヤビツ峠にオープン
サイクリング、表丹沢尾根登山、大山登山等の
拠点になる施設です。

今後、登山ツアーや様々なアクティビティに
取り組む予定のようです。



令和 3 年度事業計画（案）

1 総会

実施日 令和 3 年 4 月 18 日（日）

※ 新型コロナウイルス感染症を巡る社会情勢を踏まえ書面開催

内 容 令和 2 年度事業・決算報告及び令和 3 年度事業計画・予算案 他

2 世話人会

実施日 年 4 回（6、9、12、3 月）

※ 新型コロナウイルス感染症拡大状況に応じ書面開催も検討

場 所 神奈川県自然環境保全センター（ワーキングルーム）

出席者 世話人及び自然環境保全センター自然保護課職員

内 容 事業の企画運営ほか

3 活動事業

（1）水質調査

実施日 令和 3 年 5 月～6 月

場 所 丹沢大山地域 水場 21 箇所

内 容 大腸菌等 10 項目の水質検査

（2）外来種調査

実施日 令和 3 年 10 月

場 所 神奈川県自然環境保全センター自然観察園

内 容 池の外来種調査

（3）その他

夏休み親子自然探検隊（8 月頃）の後援

※ 新型コロナウイルス感染症を巡る社会情勢を踏まえ、令和 3 年度は、講演会は記載しません。また、（1）（2）についても、感染拡大状況に応じ中止の可能性があります。

4 広報

（1）瓦版の発行

（2）活動報告書の作成

（3）ホームページの更新

5 関係会議等への出席

（1）緑を育む集い実行委員会

（2）丹沢大山自然再生委員会

令和3年度予算（案）

資料4

1 収入の部

科 目	予算 (A)	前年度予算額 (B)	比 較 (A-B)	備 考
会費	60,000	64,000	▲ 4,000	2,000円×30団体
助成金	330,000	870,000	▲ 540,000	丹沢の緑を育む集い実行委員会 水質調査等
参加費	0	60,000	▲ 60,000	R2から夏休み親子自然探検隊は後援事業
繰越金	50,222	11,802	38,420	
合計	440,222	1,005,802	▲ 565,580	

2 支出の部

科 目	予算 (A)	前年度予算額 (B)	比 較 (A-B)	備 考
水質調査	260,000	260,000	0	交通費補助、採水ビン送料、検定料等
登山者意識調査	0	120,000	▲ 120,000	
夏休み親子自然探検隊	0	360,000	▲ 360,000	R2から夏休み親子自然探検隊は後援事業
外来種駆除活動	70,000	70,000	0	講師謝礼、資料代、諸器具・消耗品費等
講演会	0	50,000	▲ 50,000	新型コロナウイルス感染症を巡る社会情勢 を踏まえ中止
世話人会運営費	53,000	53,000	0	交通費補助、通信費等
丹沢大山自然再生委員会会費	10,220	10,220	0	会費、振込手数料等
予備費	47,002	82,582	▲ 35,580	
合計	440,222	1,005,802	▲ 565,580	

令和3年度丹沢大山ボランティアネットワーク総会結果

1 日時・場所

新型コロナウイルス感染症をめぐる社会情勢を踏まえ、書面にて開催

- ・ 令和3年4月9日 各団体に資料送付
- ・ 令和3年4月18日 各議案への賛否回答締め切り

2 出席者

回答 17 団体、未回答 13 団体

3 各議案の承認状況

すべての議案について、出席者（回答者）の過半数の賛成により、承認された。
（丹沢大山ボランティアネットワーク会則第7条第3項）

議案1： 令和2年度事業報告・決算報告

資料1．2のとおり承認（賛成17、反対0）

議案2： 令和3年度事業計画・予算（案）

資料3．4のとおり承認（賛成17、反対0）

議案3： 世話人の改選

資料5のとおり承認（賛成17、反対0）

4 その他（意見等）

- ・ ワクチン接種完了まで行事はやめておいたほうがよい。
→ 5～6月に実施予定だった水質調査は中止とする。
- ※ 10月の外来種調査は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況やワクチン接種の状況等を踏まえ、世話人会で別途判断
- ・ 来年度の講演会について、オンライン開催や動画配信等を検討してはどうか。
→ 世話人会で技術的な可能性等を含めて検討

3 各議案の承認状況

すべての議案について、出席者（回答者）の過半数の賛成により、承認された。
（丹沢大山ボランティアネットワーク会則第7条第3項）

令和3年度丹沢大山ボランティアネットワーク世話人会

	氏 名	団 体 名	任期
代 表	小林 昭五	NPO法人丹沢自然学校	令和2.4～令和4.3
副代表	小野 均	NPO法人四十八瀬川自然村	令和2.4～令和4.3
副代表	山口 寿則	NPO法人伊勢原森林里山研究会	令和3.4～令和5.3
会 計	黒坂 博	丹沢環境推進会議	令和2.4～令和4.3
監 事	安井 啓子	NPO法人野生動物救護の会	令和3.4～令和5.3
監 事	森島 眞知子	町田グラウス山の会	令和3.4～令和5.3
	栗林 弘樹	丹沢ゴミ調査会	令和2.4～令和4.3

丹沢大山登山環境意識調査

丹沢大山ボランティアネットワーク



調査期間 令和元年6月25日～11月30日

目 次

丹沢大山登山環境意識調査 概要-----1

丹沢大山登山環境意識調査 報告

- 1 はじめに-----2
- 2 今回の調査のやり方-----3
- 3 アンケート記入者の基本的資料-----5
- 4 登山者の動向について-----9
- 5 安全登山の意識について-----13
- 6 丹沢大山入山の目的と魅力-----15
- 7 登山道等設備の整備状況-----17
- 8 丹沢大山地域行事への参加-----18
- 9 水場利用について-----19
- 10 丹沢大山入山者の環境意識度合い-----20
- 11 自然環境を保全するための必要な取組み-----24
- 12 まとめ-----25

丹沢大山 登山環境 意識調査 アンケート用紙-----26

グラフで見るアンケート結果

- 1 男女別の観点から-----28
- 2 安全の観点から-----30



↑写真 滝登り・沢登りも丹沢の魅力（葛葉川上流）（表紙写真・三ノ塔から見た丹沢の山々）

令和2年度事業 丹沢大山登山環境意識調査冊子完成 表紙

丹沢大山ボラネット加盟団体からの投稿

晴天に恵まれ 北丹沢神ノ川流域 折花神社にて賑やかに

NPO法人北丹沢山岳センター・蛭ヶ岳山荘委員会・
神ノ川ヒュッテ管理委員会 代 表 杉本 憲昭

令和3年度山開き 4月11日（日）開催

毎年の恒例となっていました山開きも、昨年は台風災害とコロナ禍により実施できませんでしたが、**今年は無事行われました。**

今年はこの呼びかけに北丹沢でのトレイルレースを中心的に担っているチームのざきの野崎代表夫妻と井上千恵子さん等チームの方々、日本トレラン協会の福田六花さんご家族、神奈川県山岳連盟水島彰治会長、東斐山岳会井上力会長、神ノ川ヒュッテ友の会加藤博恵会長、山口勝彦さん、佐藤忠夫さん、末永くご参加いただいている神保信一郎さんと近藤正二郎さん、小林伸吉さん、写真家酒匂英樹さんなど総勢50名近くの方々にご参加いただきました。**神社の鳥居を皆さんの協力でペイントし、見違えるほどきれいな赤色になり、上野原市の神主鈴木宮司により祝詞奏上が行われ、今年の山の安全が祈禱されました。**



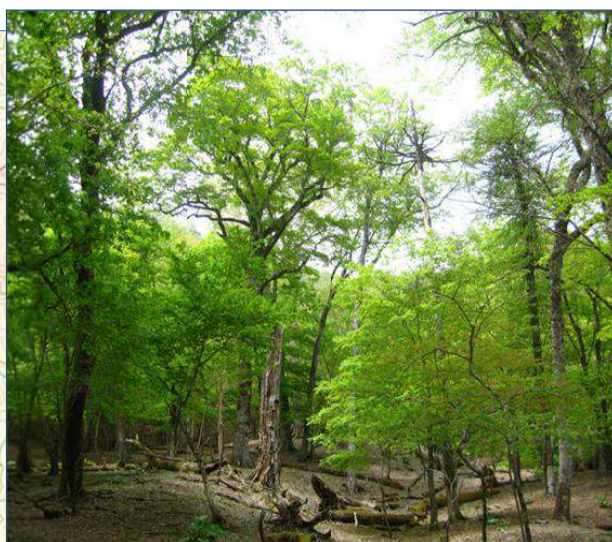
まぼろしの水場

NPO 法人丹沢自然学校

今は通行止めで入れない丹沢核心部、同角山稜に向かう途中、**中ノ沢乗越に古くから水場**があった。以前は、ボラネットの定点観測場所として毎年採水を行い検査に出していた水場であったが、玄倉林道青崩れ隧道の崩落の危険から通行止め。つかのまの新トンネル開通後、豪雨水害で玄倉林道の法面崩落の危険からユーシンに入ることができなくなり、同角山稜の径路は朽ち果てようとしている。ボラネットの定点観測からも外れ、その場所を訪れる人もいない。**経角沢源流部が、その定点観測場所であった。**

地図は1984年発行 昭文社エリアマップ19 丹沢から引用したもの。**檜洞丸南面、経角沢の文字のそばに水マークが記されている。**現在市販されている地図からは水マークは消え、中ノ沢乗越の現地にあった水場標識も、今は失われてしまった。

その場所は、平坦な場所にチョロチョロ水が流れる小さい沢の源流であるが、周辺をブナ巨木の原生林に囲まれ、いつまでも佇みたい場所である。**まさに丹沢核心部の桃源郷である。**



箒杉と箒杉の水場

巨木 箒杉

樹齢・約2000年 周囲・約12m

根回り・約18m 樹高・約45m

この水は天然記念「箒杉」を育てた水脈で古来より、この地の人々に利用されてきた天然水です。

写真「箒杉」と「箒杉の水場」



丹沢ボラネット瓦版2021年7月号(通巻110号)7月7日発行
丹沢 大山ボランティアネットワーク世話人会代表 小林 昭五

丹沢ボラネット瓦版

2022年2月号 No.111



↑ 令和4年1月7日 表丹沢 菜の花台の雪景色の写真（撮影 小林さん）



↑ 令和4年1月7日 雪の日のウサギの足跡（表丹沢林道 撮影 小林さん）

令和3年度丹沢大山自然再生活動報告会

コロナ禍の影響により昨年度は中止となっていた丹沢大山自然再生活動報告会が、第3期丹沢大山自然再生計画のメの年となる今年度は事務局の皆様の努力によりオンラインで開催されました。今回の瓦版は、初のオンライン開催となった報告会の様子を丹沢大山自然再生委員会事務局さまに紹介していただきます。

丹沢大山自然再生活動報告会をオンラインで開催しました！

丹沢大山自然再生委員会事務局

令和3年12月18日（土）に2021年度丹沢大山自然再生活動報告会を開催しました。活動報告会は、例年、日本大学藤沢キャンパス等大きな会場で開催してきましたが、昨年度はコロナ禍のこともあって残念ながら中止とした経緯があります。2021年度は是が非でも開催したいという丹沢大山自然再生委員会の総意があって、この度初めての試みとしてオンラインで開催することとしました。参加者は総勢約70名でした。

活動報告会は二部構成で行われました。第一部は丹沢で活動する6名からの発表でした。最初に、丹沢大山自然再生委員会事務局の濱野から丹沢大山自然再生委員会について紹介しました。2番目に、五十嵐 聡氏（NPO法人丹沢自然学校）から「檜洞丸での定点撮影調査から見た植生の変化—2010年と2021年を比較して」の発表がありました。3番目に、石塚康彦氏（NPO法人野生動物救護の会）から「自動撮影カメラを用いた神奈川県自然環境保全センター自然観察園における鳥類調査」の発表がありました。4番目に、長澤展子氏（公益財団法人神奈川県公園協会）から「スタッフが見た丹沢10年」の発表がありました。5番目に、金子裕明氏（神奈川工科大学）から「2系統のシロタニガワカゲロウが相模川に生息するのはなぜか？」というテーマの発表がありました。最後に、土井寛大氏（日本獣医生命科学大学大学院）から「日本紅斑熱ベクターマダニの分布 —丹沢・箱根から三浦半島まで—」の発表がありました。どの発表もスライドが見やすく、音声も聞き取りやすく、しかも内容が濃いものばかりで、丹沢で活躍する団体・研究者の多様性が伺えました。

第二部は総合討論でした。テーマを「近年起きている自然の脅威に対して、自然再生の取組はどこまで対応可能か？」として、3名から話題提供していただきました。最初に、内山佳美氏（自然環境保全センター）から「令

和元年の台風による森林被害～水源かん養機能のモニタリングの視点から～」の発表がありました。次に、北村 栄氏（秦野市環境共生課）から、「秦野市におけるナラ枯れ被害の状況と対策について」の発表がありました。最後に小林昭五氏から「丹沢大山登山環境意識調査から見たもの」の発表がありました。時間が限られていたため質問を十分に受け付けることができず、また、テーマが大きいこともあって議論を深めることに限界もありました。それでも勝山輝男委員長がとりまとめて、再生委員会として丹沢大山の自然を見続け、異変をすぐに捉える準備をすることが必要であると締めてくださいました。

事務局は当初、画面や音声の不通を心配していましたが、大きな問題もなく終了することができました。アンケートでオンライン開催と対面開催の希望を聞いたところ、両者ともに拮抗した結果になりました。いずれの方法においても次年度以降も活動報告会を開催していきます。引き続きご支援とご協力をお願いします。



丹沢大山自然再生委員会事務局（自然環境保全センター）の会議室での開催状況。プロジェクターを用いてパソコン画面を壁（スクリーン）に映写した。

丹沢大山ボラネット加盟団体からの投稿

丹沢環境推進会議の黒坂博さんから原稿を投稿していただきました。黒坂さんは令和4年3月までの任期でボラネット世話人会の会計を務めてくださっています。今回は丹沢大山ボランティアネットワークの活動に関する思い出を綴ってくださいました。

丹沢大山ボランティアネットワーク活動に携わって

丹沢環境推進会議
ボラネット世話人会・会計
黒坂 博

今回の世話人会2年はコロナ関係で通常の対面による会合や、諸々の行事などほとんどできずじまいで終わってしまいました。活動内容について知ることができなかったのが残念です。

そんな中で、5年に一度のアンケート、そして集計、分析を小林代表と共に関わる事ができて、よい思い出になりました。

アンケート調査では、いろいろな人に出会い、山登りやハイキングを楽しんでいる人たちを知りました。朝一番のバスを待っている人たちも、たいが



アンケート活動の様子（西丹V C）

いの方はアンケートに答えてくれました。山歩きをする人たちは、気さくな人が多いようです。私も朝の始発に乗るために早起きをしました。

定年になったら、こういう丹沢関係でボランティアをしたいと思っている。どうすればいいか聞いてくる人もいました。お礼に配っていたティッシュにかかれていた説明用の案内を見てもらって、そこに連絡をしてみてもいいですかとか返答したこともありました。

多くのボランティア団体が丹沢大山に関わっているのも知りました。自然環境に関心を持っている人も多く自分の知らないこととお話してもらいました。



ボラネット活動の様子（活動報告会）

調査結果では、入山回数が初めてから、2回以上、10回以上など、20年間同じように推移していること。その中で、社会状況によつての年代別の変化が見られたり、車社会を反映して自家用車の乗り入れは増加している事などを知りました。ボランティア団体の種々の活動によつて自然環境は復活傾向にあり、登山者に楽しんでもらいながら、環境維持も進められていることがわかりました。ありがとうございました。

ボラネット加盟団体の NPO 法人 野生動物救護の会さまが最近の活動状況と会の PR を寄せてくださいました。

NPO 法人 野生動物救護の会の紹介と活動報告

野生動物救護の会事務局

私たちは野生動物の保護および救護に関わる活動を通じて、自然環境と生物多様性の保全に貢献することを目標に、自然環境保全センター傷病鳥獣救護施設において清掃や動物の世話など軽作業に従事する野生動物救護ボランティアを中心に活動しています。また、厚木市七沢周辺において丹沢山系に生息する野鳥や哺乳類の観察、彼らの休息や繁殖のための巣箱設置などの保護活動を実施しています。さらに私たちが救護ボランティアや自然観察を通じて野生動物たちから学んだ知識を多くの人たちに伝えるための普及啓発活動や県内の小学校において傷病鳥獣保護活動に関する出前授業を実施しています。

傷ついた野生動物たちが再び自由に生きられるように世話をする救護ボランティアを行いながら、人間社会との軋轢により傷つく野生動物を減らすための調査や普及啓発にもチャレンジしてみたい方、ご連絡ください。



令和3年11月23日に秦野市鶴巻温泉駅前で開催された「自慢の味・人・土産を発見！秋のにぎわいフェア」に参加しました。エデュケーションボードのオオコノハズク/コノハちゃんが活躍しました。



令和3年12月11日に神奈川県自然環境保全センター傷病施設内の大掃除を県の救護ボランティアの方たちと一緒に行いました。皆さんマスクをして黙々と頑張りました。おかげで動物たちは良い新年を迎えられたと思います。



自然環境保全センター野外施設の様子。Y34 杭付近の風景（令和4年2月）

最後に僭越ではございますが、この瓦版 111 号の編集を担当させていただきました野生動物救護の会 遠藤順一の紹介をさせてください。私は今年度から前任の安井啓子さんに代わりボラネット世話人会 監事に就任いたしました。普段は自然環境保全センターの傷病鳥獣保護施設で動物たちの世話をしていたり、自然観察園内をうろうろと歩き回っております。今回は瓦版の編集を任せていただけて、丹沢大山ボランティアネットワークの活動に少しですが参加できて楽しかったです。来年度は様々なボラネットの活動を通して多くの方にお会いできることを期待しております。その節は宜しくお願い致します。



ムササビの幼獣を世話している（遊んでいる）私。この子は無事に育って去年の秋に山に帰りました。

丹沢ボラネット瓦版2022年2月号（通巻111号）2月15日発行
丹沢 大山ボランティアネットワーク世話人会代表 小林 昭五

Ⅱ 会員団体活動掲示板

団体名 称	NPO 法人 丹沢自然保護協会
設立目 的	「空に鳥 森に獣 川に魚」のいるごく当たり前の自然環境が人が生きていくために、特に子供たちにとって大切であるという思いに共感していただいた方々と共に、丹沢の豊かな自然環境を守り次世代に引き継ぐ活動を行う。 【設立年月日】 1960 年
団体情 報	【代表者】 中村 道也 【会員数】 430 名 【ホームページ】 丹沢自然保護協会 で検索してください
活動内 容	年度前半はコロナが落ち着きを見せたことにより、一部を除き活動を実施することができた。 1. <u>緑の再生事業</u>・・・荒廃地や人為的影響により生じた裸地に広葉樹等の植栽を行い動物たちの生息域が孤立しない様、緑地帯で生息域をつなぐ緑のコリドー作りを行う。 1.1 「春の植樹」 4月17日 参加者106名 菩提峠に610本の植樹を行った。 1.2 「秋の植樹」 10月23日 参加者288名 菩提峠に1010本の植樹を行った。 今回から植樹参加者に以前植えた苗木の周辺の草刈りも併せて実施した。 苗木が草の背丈を超えるまで継続実施する。 2. <u>森の学校</u>・・・子供たちに合宿による自然観察や実地体験を通して、楽しさの中に様々な形で自然環境について学んでもらう。 2.1 森の学校「冬の教室」 12月27日から29日 参加者35名 冬だから解る野生動物の気配をテーマに間伐体験、道のない森歩き、動物のフン等を通して動物と森の関係を体感させた。 3. <u>丹沢フォーラム</u>・・・丹沢が抱える問題や、行政事業として実施されている丹沢再生や水源林施業地を訪ね、担当職員、専門講師による解説を受け、事業について学ぶ 3.1 春の「丹沢フォーラム」 4月18日 参加者41名 自然再生の現地を訪ねるをテーマに境沢林道を歩き、溪畔林とシカ管理について学んだ。 3.2 秋の「丹沢フォーラム」 11月13日 参加者32名 これまでの植樹地を訪ねるをテーマに、水沢林道～水沢沿いの三の塔植樹地及び三の塔山頂の植樹地を訪ね、樹木の生長具合、雑木林への移行過程等植樹地の変化を体験した。 4. <u>丹沢を歩く</u>・・・山頂を目指す登山に限らず、丹沢に精通する会員が様々な丹沢の魅力を案内し、併せて自然保護の啓発活動を行う。 4.1 丹沢を歩く「ヨモギ尾根」 12月20日 参加者10名 シモバシラを探しに諸戸～ヨモギ平～ヨモギ尾根から札掛を歩きました。

ヨモギ尾根でシモバシラに出会うことができました。

4.2 丹沢を歩く「高取山、仏果山」 1月15日 参加者9名

冬枯れの高取山～仏果山を歩きました。

展望とシモバシラを見ることができました。



植樹の様子



森の学校、クマの糞を洗って種を探す



丹沢歩く、シモバシラ



丹沢フォーラム、講師の説明を聞く

連絡先

【担当者】

【住 所】

【電 話】

【F A X】

【メール】

団体名称	横浜わらび山の会
設立目的	自然を通じて会員相互の親睦をはかり、「生涯登山」を合言葉に楽しい山歩きやハイキングを目的としています。日帰り山行は元より、夏の山行、街中ハイキングから神社、仏閣巡り、温泉、花巡り、障害者登山への積極的参加などを通して、自然を愛し、自然保護に力を入れ、自然と親しみながら、「和やかに」「楽しく」「美しく」、いつまでも元気でいられるよう行動しています。 会名「わらび」は、理念のなかの「和やかに」「楽しく」「美しく」の和・楽・美を合わせて「わらび」と命名しました。 【設立年月日】1990年3月
団体情報	【代表者】 武智 清史 【会員数】 29名 50才～70才代が中心 【ホームページ】 横浜わらび山の会
活動内容	10月23日（土） 丹沢の緑を育む集い実行委員会主催の植樹事業に4名参加。 植樹の場所は菩提峠エリアで実施。作業後は不動の滝経由で菩提原バス停へ   
連絡先	【担当者】 長谷川 隆
	【住 所】
	【電 話】
	【FAX】
	【メール】 BRB35371@nifty.com

団体名称	NPO 法人 みろく山の会
設立目的	健全かつ安全な登山、ハイキングに対する事業を行いスポーツの振興に寄与する目的で設立 【設立年月日】1983 年 4 月設立。200 年 3 月に NPO 法人としての認証を受ける。
団体情報	【代表者】 坂本優 【会員数】 770 名（2022 年 1 月末） 【ホームページ】 https://npo.mirokuyamanokai.org/
活動内容	例年会山行を月 60 回ほど、年間 800 回くらい計画していますが、今年度もコロナ感染防止の観点から中止の山行も多く、実施率は 50%ほどになりました。 山行は 170 名ほどのリーダーが計画を立て、初心者から経験者までが参加できるように公園歩き、近郊の低山、アルプスなどの縦走、クライミング、沢登り、雪山、スキーなどを実施しています。また、系統だった学習山行にも力を入れて、会員が自立した登山者を目指せるよう工夫しています。 当会の三大大行事としては、総会・清掃登山・みろく祭があります。その中で自然保護活動の一環として実施している「清掃登山」は会創立以来継続して取り組んでいます。今年度も 5 月 8 日に会員 212 名が 10 コースに分かれ、166Kg のゴミを回収しました。 また丹沢大山再生計画の第 1 期から行っている大倉尾根の県民協働型登山道補修は、毎月 1 回 10 名ほどが参加して、登山道の老朽化した階段や水切りの補修などを行っています。
連絡先	【担当者】 金井朝子（自然保護部長） 【住 所】 横浜市西区戸部本町 51-13 松村興産ビル 2F 【電 話】 045-317-2369 【F A X】 045-317-2365 【メール】

団体名称	NP0 法人 野生動物救護獣医師協会神奈川支部（WRV 神奈川支部）
設立目的	野生動物の救護活動を通じ、神奈川県における自然環境保全に寄与することを目的とする 【設立年月日】 2003 年 7 月 5 日
団体情報	【代表者】 皆川康雄 【会員数】 約 10 名 神奈川県野生動物リハビリテーター認定者：約 100 名 【ホームページ】 https://wrv-kanagawa.net/
活動内容	丹沢大山の自然環境保全に直接かかわる活動は特にはないが、県内の野生動物救護施設を中心に県内全域で以下の活動をしています。 ※ただし、今年度は新型コロナの影響により、ほとんど実施できておりません ①傷病野生動物の救護と野生復帰 ②傷病野生動物の救護に従事できる専門的なボランティア『神奈川県野生動物リハビリテーター』を県の協力を得て養成及び資格認定 認定された野生動物リハビリテーターは、県自然環境保全センター、横浜市立動物園（野毛山・金沢・よこはま動物園ズーラシア）及び川崎市夢見ヶ崎動物公園にて活動 ③大学や専門学校を対象に野生動物リハビリテーター人材の育成のための専門家教育 ④次代を担う子どもたちに生命や自然の大切さ、人と野生動物との共生のための環境教育 ⑤県民に野生動物救護に対する理解を深めてもらうための普及啓発 ⑥救護原因の究明や予防対策のための調査研究 いきものミュージアム-YouTube <普及啓発用動画配信（3 部）> https://www.youtube.com/channel/UCOLaJo0o4CsFs0D1Rg4LJgg 1. 野鳥のヒナを拾わないで！... でもどうして？ 2. 野鳥のヒナを拾っちゃった！... どうしたら良いの？ 3. 野生動物リハビリテーターって何？
連絡先	【担当者】 皆川康雄 【住 所】 横浜市神奈川区六角橋 5-17-15 皆川ハイム 102 【電 話】 045-548-4744 【F A X】 045-548-4745 【メール】 kanagawa@wrvj.org

団体名称	町田グラウス山の会（日本勤労者山岳連盟所属）
設立目的	登山を市民の健全なスポーツ・レクリエーションとして広め、登山の知識技術向上と安全山行を推進するとともに、山岳自然保護活動などを行う。 【設立年月日】 1984 年 1 月
団体情報	【代表者】 萱沼 隆 【会員数】 170 名 【ホームページ】 http://machida-grouse.com/
内容	・丹沢をはじめ、全国各地および海外の山岳での登山活動。 ただし、令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、大人数での山行や海外での登山は行われず、比較的少人数での登山が行われた。 ・会結成記念山行や集中山行、障がい者との交流ハイクなど、恒例となっている行事は多くが中止となったが、10 月には 10 日間程のクリーンハイク期間を設けて、各山行において登山道の清掃活動を行った。
連絡先	【担当者】 森島眞知子
	【住 所】 町田市山崎町 1356 シーアイハイツ E-902
	【電 話】 042-813-3171
	【F A X】 042-813-3171
	【メール】 ruriboshi_asahi@outlook.jp

団体名称	NPO法人丹沢自然学校
設立目的	丹沢地域に暮らす人々及び丹沢地域を訪問する人々に対して、相互の交流を促進すると共に、丹沢地域の自然、文化の普及、啓発に関する事業を行い、丹沢地域の自然環境及び地域文化の保護、保全に寄与することを目的とする。 2009年4月23日NPO法人として設立(2007年3月3日任意団体として発足)
団体情報	【代表者】 理事長 五十嵐聡 【会員数】 15名 【ホームページ】 http://www.tes21.org
活動内容	私たちは西丹沢を中心に、丹沢の自然や文化を体験するエコツアー・プログラムを企画・実施しています。 しかし2021年度はコロナ禍のため、前年度と同様、人気プログラムであるシャワークライミングをはじめとするエコツアーは開催できませんでした。大変残念ですが、今後は感染状況を見極めながら、万全の対策の上、少しずつプログラムを再開していきたいと考えています。 エコツアー以外の活動として、西丹沢の植生の状況を追跡調査する定点撮影調査を2010年度から行っています。丹沢の林床植生の衰退や回復の証拠をとらえることができています。2021年も10月に檜洞丸のつつじ新道で10か所の定点の撮影を実施しました。  檜洞丸山頂直下 2010年10月撮影  同一地点 2021年10月撮影 林床植生が回復していることがわかる。

また地域への貢献として、秦野市郊外の小学校・幼稚園で、水生生物・野生動物調査の出張授業を3回実施しています（幼稚園1回、小学校2回）。場所はいずれも秦野市柳川にある生きものの里です。

幼稚園で実施した「生きものの里調査隊」では、親子を対象にして水生生物を捕獲調査しました。水生生物の採集方法「ガサガサ」のやり方を教え、採れた生物をスタッフが分類したところ、ドジョウ、ホトケドジョウ、アブラハヤ、ツチガエルなどが採集できました。ホトケドジョウが絶滅危惧種であることなどを解説し、この場所にいかに貴重な自然が残っているかを、体で感じていただく体験になったと思います。



小学校3年生を対象とした「上秦野野生動物調査隊」は、野生動物の痕跡探しをした後で、動物が活動しそうな場所を児童が考え、センサーカメラを仕掛けるという方法で、2016年度から毎年冬に実施しています。

今年度は2月1日～19日に実施し、哺乳類ではシカ、キツネ、タヌキ、アライグマ、ハクビシンの生息が確認されました。この調査結果は、秦野市環境保全課及び市の自然観察施設「くずはの家」にも提供しています。



これらの活動を外部に報告・紹介する機会として、10月に行われた秦野市植樹祭において、植樹会場への経路上にある柳川生きものの里で、水生生物や野生動物の調査結果の野外展示を行いました。また12月に行われた丹沢大山自然再生活動報告会において、定点撮影調査の結果を発表しました。



これらの活動を通じ、多くの方に丹沢の自然や文化を知っていただき、丹沢の自然のために行動する輪が広がっていくことを願っています。

連絡先

【担当者】

【住 所】 秦野市八沢 76-5

【電 話】 080-5528-1491

【F A X】 0463-57-2967

【メール】

団体名称	特定非営利活動法人 野生動物救護の会
設立目的	野生動物の保護及び救護に関わる活動を通じて、自然環境と生物多様性の保全に貢献することを目的とする。 モットーは「一頭一羽でも多くの野生復帰を目指して！」 【設立年月日】平成18年10月2日
団体情報	【代表者】渡辺 優子 【会員数】約90名 小学生から年配者まで幅広い会員 【ホームページ】http://kanagawa-choju.sakura.ne.jp
活動内容	基本は神奈川県自然環境保全センターにおける野生動物救護ボランティアとしての活動。 ・ 4月 会報誌「RUNNER 36」発行 ・ 6月13日 第14回 特定非営利活動法人野生動物救護の会 定期総会開催 ・ 10月21日～11月26日 ブナの森ギャラリー展示「神奈川県で保護された傷病野鳥の羽根標本」と痕跡調査 R3 年度活動報告 ・ 11月23日 秦野市鶴巻温泉駅南口にて「秋のにぎわいフェア」参加 ・ 12月11日 傷病舎大掃除 開催 ・ 2月～5月 第21回 さがみ自然フォーラム 展示参加 通年調査 ・ 「足環プロジェクト」 ・ 秦野市立図書館衝突調査 ・ フクロウなどの巣箱調査 ・ 神奈川県自然環境保全センター野外施設及び傷病鳥獣治療飼育舎周辺での「野生動物痕跡調査」 そのほか羽根標本作成や探鳥会などを行っている また、会報誌 RUNNER 発行やブログ更新（随時）も行っている
連絡先	【担当者】野生動物救護の会 事務局
	【住 所】神奈川県秦野市戸川 1086-4
	【電 話】0463-75-1830
	【F A X】0463-75-1830
	【メール】wildrelief@kanagawa-choju.sakura.ne.jp



秋のにぎわいフェア



傷病舎大掃除



ブナの森ギャラリー展示「神奈川県で保護された傷病野鳥の羽根標本と
痕跡調査 R3 年度活動報告」



第 21 回 さがみ自然フォーラム

団体名称	丹沢環境推進会議
設立目的	神奈川県内に於いて、丹沢大山地域の自然環境保護保全活動を行う。 2017年4月10日任意団体として設立
団体情報	【代表者】 小林 昭五 【会員数】 10人名 機関誌 丹沢環境推進会議だより 年3回発行予定
活動内容	(1) 神奈川県内に於いて、丹沢大山地域の環境保護活動、啓発活動、人材育成活動を行った。 (2) 丹沢大山地域の環境美化活動を行った。 (3) 丹沢大山地域の環境検定問題づくりを行った。 (4) 目的達成のため他団体と協力連携してボランティア活動を行った。美化活動に協力した。 (5) あやせ環境推進会議と協力して清水川流域の環境保存にとりくんだ。  清水川の上流が開発されて 水質汚染等が心配である。  環境美化の啓発看板 セキショウが清流に映える。
連絡先	【担当者】 黒坂 博 【住 所】 【電 話】 【FAX】 【メール】

Ⅲ 世話人会の活動報告

令和3年度世話人会の活動報告書

1 世話人会の開催

(1) 第1回

実施日 令和3年5月21日(金) 提示～6月2日(水) 集約～6月5日(土) 結果報告
方 法 電子文書とメール交換による書面開催
出席者 7名
内 容 ①年間世話人会日程等計画 ②丹沢ボラネット瓦版
③次年度以降のボラネット活動に向けての提言 ④その他

(2) 第2回

実施日 令和3年8月24日(火) 提示～9月1日(水) 集約～9月2日(木) 結果報告
方 法 電子文書とメール交換による書面開催
出席者 7人
内 容 ①外来種調査について ②登山環境意識調査について
③水質調査協力団体について ④丹沢ボラネット瓦版(111号)について
⑤その他

(3) 第3回

実施日 令和3年11月23日(火) 提示～12月1日(水) 集約～12月17日(金) 結果報告
方 法 電子文書とメール交換による書面開催
出席者 7名
内 容 ①世話人会の改選について ②水質調査協力団体について ③令和4年度の行事
予定について ④今後のボラネット事業のあり方について ⑤ボラネット瓦版
のとりまとめについて

(4) 第4回

実施日 令和4年2月提示～3月2日(水) 集約～3月結果報告
方 法 電子文書とメール交換による書面開催
内 容 ① 令和4年度丹沢大山ボランティアネットワーク総会に向けて
② その他

2 関係団体との協働

丹沢大山ボランティアネットワークから世話人会代表が各委員会へ出席

(1) 丹沢の緑を育む集い実行委員会総会

日 時 令和3年7月9日（金）

方 法 書面開催

内 容 第1号議案 令和2年度事業報告について
第2号議案 令和2年度決算報告について
第3号議案 令和3年度事業計画について
第4号議案 令和3年度予算について
第5号議案 丹沢の緑を育む集い実行委員会ボランティア団体
活動助成事業に関する実施要領一部改正について

(2) 丹沢大山自然再生委員会関係

ア 丹沢大山自然再生委員会 ・第34回幹事会

日 時 令和3年5月17日（月）

方 法 書面とオンライン会議

内 容 ① 第22回丹沢大山自然再生委員会総会の資料について
② 再生委員会への入会審査状況について
③ （公財）森林文化協会の月刊誌「グリーン・パワー」からの
執筆依頼について
④その他

イ 丹沢大山自然再生委員会 令和3年度総会

日 時 令和3年6月25日（金）

方 法 書面とオンライン会議

内 容 ① 令和2年度事業実績・決算について
② 令和3年度事業計画・予算について
③ 役員、幹事の改選について
④ 各専門部会からの報告
⑤ 令和3年度丹沢大山自然再生活動報告会について
⑥ 次期「丹沢大山自然再生計画」の策定状況について
⑦ その他

ウ 丹沢大山自然再生委員会第35回幹事会

日 時 令和3年9月3日（金）

方 法 オンライン会議

- 内 容 ① 2021年度（令和3年度）丹沢大山自然再生活動報告会について
② 令和3年度調査・研究助成金の応募について

エ 丹沢大山自然再生委員会第36回幹事会

日 時 令和3年9月15日（水）

方 法 オンライン会議

- 内 容 ① 2021年度（令和3年度）丹沢大山自然再生活動報告会について
② その他

オ 2021年度丹沢大山自然再生活動報告会

日 時 令和3年12月18日（土）PM

方 法 オンライン形式（ズームミーティング&ズームウェビナー）

- 内 容 ① 第一部
・活動研究発表（ズームミーティング形式）
6団体発表 スライド発表またはポスター発表
② 第二部
テーマ 近年起きている自然の脅威に対して、自然再生の取り組みは
どこまで対応可能なのか？
・総合討論（ズームウェビナー形式）
3団体発表 スライド発表

カ 丹沢大山自然再生委員会第37回幹事会

日 時 令和4年3月14日（月）

方 法 オンライン会議

- 内 容 ① 第23回再生委員会総会の開催方法について
② 令和4年度の加盟団体等の開催イベント等の共催後援について
③ 令和4年度の活動報告会について
④ その他

丹沢大山ボランティアネットワーク会則

(名 称)

第1条 本組織は、丹沢大山ボランティアネットワーク(以下「ネットワーク」という。)と称する。

(目 的)

第2条 ネットワークは、丹沢大山で自然環境に関する活動を実践しているボランティア団体の自主的な連携を図り、行政とのパートナーシップのもとで丹沢大山の自然環境の保全に関する活動の推進を図ることを目的とする。

(会 員)

第3条 会員は目的に賛同するボランティア団体により構成する。

2 入会及び退会は、所定の書面による届け出とする。

(活動内容)

第4条 ネットワークは、次の活動を行う。

- (1) ネットワークづくりの推進に必要な活動の実施
- (2) 会員への情報提供および会員相互の情報交換の推進
- (3) その他、ネットワークの目的に合致する活動

(世話人会)

第5条 ネットワークの運営のため、世話人会を設ける。

2 世話人は総会によって選出し、10名程度とする。

3 世話人会に代表1名と、副代表2名を置き、選出された構成員の中から互選により定める。

4 世話人会は代表が招集し、議長となる。

5 副代表は代表を補佐し、代表に事故ある時は、その職務を代行する。

6 世話人の任期は2年とする。ただし、再選は妨げない。

7 世話人会は、必要に応じ開催する。

(世話人会の職務)

第6条 世話人会は次の事項を行う。

- (1) 会員間の連携の推進に必要な連絡、調整
- (2) 各種情報の収集、分析
- (3) 行政とのパートナーシップの推進のため必要な神奈川県自然環境保全センターとの協議
- (4) 総会に付議する議案に関すること。
- (5) その他、ネットワークの運営のため必要な事項

(総会)

第7条 総会は、世話人会代表が召集する。

2 総会は、年1回以上開催する。

- 3 議事は、出席者の過半数をもって決定する。
- 4 議決権は1団体で1票とする。

(事業年度)

第8条 事業年度は、4月1日から翌年3月31日迄とする。

(会 費)

第9条 会費は毎年4月1日から翌年3月31日迄の1年間とし、年間2,000円とする。

(庶 務)

第10条 丹沢大山ボランティアネットワークの必要とする費用は、会費および助成金、その他の収入をもってこれに充当する。

- 2 会計担当者を2名以内置く。
- 3 監事を2名置き、会務および会計を監査する。
- 4 ネットワークの庶務は、当分の間、神奈川県自然環境保全センターが協力して行う。

(その他)

第11条 この会則に定めるものの他、ネットワークの運営に必要な事項は、世話人会で協議して定める。

- 附 則
- 1 この会則は、平成14年8月4日から施行する。
 - 2 この会則は、平成15年4月5日から施行する。
 - 3 この会則は、平成19年4月8日から施行する。
 - 4 この会則は、平成20年4月6日から施行する。
 - 5 この会則は、平成31年4月20日から施行する。

丹沢大山ボランティアネットワーク入会届

年 月 日

丹沢大山ボランティアネットワーク
世話人会代表 様

丹沢大山ボランティアネットワークに入会しますので、入会届を提出します。

団 体 名
住 所 〒
代表者 氏名
〃 住所 〒
担当者 氏名
(連絡先) 住所 〒
〃 電話
〃 ファックス
〃 E-mail

団体の概要記入欄

設立時期	
会員数	
会報	☐ あり（名称： ） ☐ なし
ホームページ	☐ あり（アドレス： ） ☐ なし
保全活動に関するキーワード	☐ 美化活動 ☐ 植樹、森林の育成 ☐ 調査（内容： ） ☐ 普及啓発（内容： ） ☐ その他（内容： ）
活動の概要	 主な活動地域（ ）
自由記載欄	
連絡方法	☐ 郵送 ☐ 電話 ☐ ファックス ☐ E-mail

- 注 1 該当する□にチェックをしてください。
2 内容については、丹沢大山保全活動ホームページに掲載します。

丹沢大山ボランティアネットワーク退会届

年 月 日

丹沢大山ボランティアネットワーク
世話人会代表 様

丹沢大山ボランティアネットワークを退会しますので、退会届を提出します。

団 体 名	
住 所	
代表者 氏名	
〃 住所	

退会理由：

編集・発行

神奈川県自然環境保全センター

厚木市七沢 6 5 7

電話 046-248-0323